

【優先順位の考え方】

平群町が管理するトンネルは、櫛原トンネル1本であるため優先順位はなく、当該トンネルに対するトンネル定期点検の結果に基づき維持管理を実施します。

I 判定	II 判定	III 判定	IV 判定	全トンネル数
0	1	0	0	1
0%	100%	0%	0%	0%

【直近の点検結果】

平成30年度…Ⅱb判定

令和5年度…Ⅱa判定

次回点検年度…令和10年度

【対策の着手・完了予定年度】

着手…令和11年度

完了…令和12年度

【主な対策内容及び概算事業費】

●はく落防止対策

- ・断面修復工…浮きコンクリートをはつり落とし、無機系無収縮ポリマーセメントモルタルによる断面修復
- ・ひび割れ注入工…エポキシ樹脂系の注入剤によるひび割れ補修
- ・繊維シート接着工…2方向クロス炭素繊維シートを単層接着
- ・FRPメッシュシート工…覆工コンクリートの目地部の段差やカーブライナー部のはく落防止対策

●はく落防止対策

- ・溝切ゴム挿入型導水工…伸縮性ゴム(凸型)工法を漏水箇所や漏水跡の目地部に採用

●概算事業費

- ・14,346,000円

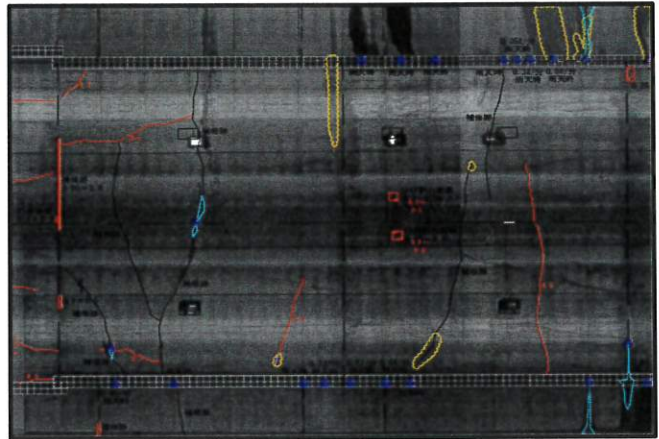
【新技術の活用方針】

平群町が管理するトンネルは、5年サイクルで定期点検を行う予定です。新技術の活用における現場作業の効率化、内業の効率化を目的とし、トンネル点検におけるロボット技術(新技術)の活用についても積極的に検討します。活用が可能な技術として、画像計測技術、非破壊検査技術、計測モニタリング技術などが挙げられます。

例として、画像計測技術を活用することにより、人力による近接目視と比較して20%程度のコスト縮減を目指します。



走行型画像撮影車(例)



新技術活用による変状の見える化(例)

【費用縮減方針】

定期点検結果から得られた損傷状況を踏まえて、予防保全段階(Ⅱ)判定箇所についても修繕等を検討することで、高コストを回避し、ライフサイクルコスト(LCC)の縮減を図ります。